

令和4年度第46回群馬県実業団大会実施要項

- 1 期 日 令和4年11月27日（日） 集合9：00審判監督会議9：30開会式10：00
- 2 会 場 A L S O K ぐんま武道館 前橋市関根町800（TEL：027-234-5555）
- 3 主 催 群馬県実業柔道連盟
- 4 主 管 群馬県実業柔道連盟
- 5 後 援 群馬県柔道連盟
- 6 参加資格 1) 全日本柔道連盟に登録した団体・個人であり、群馬県柔道連盟会員であること。本大会に参加することによって群馬県実業柔道連盟会員とみなす。
2) 参加チームは県内所在の会社及び事業所単位とするが、活動を共にしている者でチームを編成することを認める。但し、教員・警察官・学生は除く。
3) 団体戦及び個人戦の複数参加も認める。
- 7 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定による。
 - 1) 優勢勝ちの判定基準
 - ①団体戦の優勢勝ちは「技有」または「指導差2」以上とする。
 - ②個人戦及び団体戦の代表戦の優勢勝ちは「技有」以上とし、ポイントによる差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)を行う。
 - 2) 試合時間は4分間
 - 3) 事故により一旦退いた選手はその後の試合に出場することはできない。
 - 4) 申し込み後、選手変更または補欠に事故を生じた際は大会開始前に理由を付して申し出た者に限り、変更を認める。

【団体戦試合】（東日本実業団大会に準じる。）

- ①1チームの人数は監督1名、選手3名、補欠1名計5名とする。但し、監督は選手を兼ねることができる。このとき選手としても登録すること。なお、1回戦より2名の選手出場でも可能とする。
- ②選手の配列は自由とする。但し、申し込み後のメンバー及び配列変更は認めない。
- ③チーム間の勝敗は勝ち数の多少により決める。勝ち数が同数の場合は勝ちの内容により決する。（一本勝ち、技あり、僅差（指導差2以上）勝ちに差を付ける。）
なお、同等の場合は代表戦（任意選出）を行う。※代表戦は、個人戦の競技方法に準じて行う。（「僅差」決着なし）
- ④試合当日、選手に事故を生じた場合は補欠をもってこれを充当する。

【個人戦試合】（全日本実業団個人選手権大会に準じる。）

①個人戦

・第1部(+100kg)・第2部(-100kg)・第3部(-90kg)・第4部(-81kg)
・第5部(-73g)・第6部(-66kg)・第7部(-60kg)・第8部(40才以上)
・第9部(無段者)・第10部(女子の部)とする。但し、参加人数により各部を
括り併合する場合がある。

②計量は大会当日の午前9時00分から行う。

③年齢は大会当日の満年齢とする。

- 8 競技方法 1) 団体戦・個人戦ともトーナメント戦で行う。(団体戦を先に行う。)
2) 3位決定戦は行わない。
- 9 申込方法 1) 申込期日：令和4年10月10日(月)までとする。(オーダー表はA4用紙を横
1/3の大きさにして、事業所名、選手名を記入したものを当日持参するこ
と。)

- 2) 申込先：小鮒 崇
E-mail : cob18kin@yahoo.co.jp
振込口座

| |
|---------------------|
| ぐんまみらい信用組合 |
| 店名 群馬町支店 |
| 口座番号 1391817 |
| 口座名義 小鮒 崇 (コブナ タカシ) |

※ メールによる申し込みをおこなうこと。

- 10 参加料 次の額を申込みと同時に納入する。
団体戦に参加する事業所は1万円
個人戦のみ参加する事業所は1名につき千円(団体戦に参加する場合は個人戦
は無料)

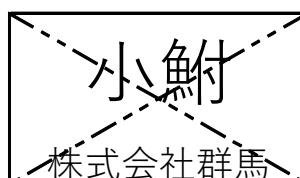
※ 振込を使用する場合は、企業名(団体名)及び氏名を必ず記入すること。

- 11 表彰 団体戦、個人戦とも、優勝、準優勝、第三位まで表彰する。
- 12 服装 柔道着は2015年からの全日本柔連連盟認定の柔道衣規格の柔道衣(赤文字・
赤粋)とする。

次の規定に合わないゼッケン並びにゼッケンのない者は出場できない。

ゼッケンは所定の様式で規定どおりに縫い付ける。

- ① 罫地は白色(晒太綾)で、サイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cm。
② 上部2/3に苗字、下部1/3に所属を表記する。書体は楷書でゴシック体または明
朝体を用いること。
③ 縫い付けの位置は後襟から5~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける
こと。



- 13 組合せ 本部で責任をもって抽選する。

- 14 その他
- 1) 本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」「脳震盪対応について」2012.4.1付全日本柔道連盟通達（別途参照）及び「新型コロナウイルス感染症への対応について」2022.5.11付全日本柔道連盟通達(別途参照)を適用する。
 - 2) 柔道着は2015年からの全日本柔道連盟認定の柔道着（赤文字・赤枠）とする。
 - 3) 代表者会議には、各チームから監督または代表者が出席すること。
 - 4) 参加チームは、1名以上の帯同審判員を参加させること。
 - 5) 出場申込みをした後で欠場の場合は参加料の返金はない。
 - 6) その他必要事項が発生した時は、競技委員会において決定する。